

3月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	13,866	100	12,724	68	110	90	3	0	神奈川、千葉産中心。両産地ともに地温が低く、Lサイズ中心だがやや小ぶり仕上がりとなっているが、3月は肥大回復が見込まれる。圃場には不足なく植わっており、予想入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。上旬は秋冬作が減り強めの展開だが、中旬以降は春作の増加、気温上昇等で引き合い弱まる見込み。
はくさい	7,960	100	8,720	69	94	83	0	0	茨城、兵庫、群馬産中心の入荷となる。茨城産は冷え込みと降雨で傷みが散見されるが、出荷への影響は小さく、3月も切れ目なく入荷される見込み。兵庫産は作柄に問題ないが、入荷量の増減は市況による。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る。
ほうれんそう	1,607	105	1,572	393	102	370	0	0	群馬、茨城、埼玉、千葉産など関東もの中心の入荷となる。低温のため生育伸び悩むも、株に不足はなく生育は概ね順調。施設倒壊被害は完全普及していない地域もあるが、作付面積は各産地ともに前年を上回っており、入荷量は前年を上回る見込み。3月も基調高の流れは変わらず価格は前年をやや上回る見込み。
キャベツ類	16,837	102	17,227	97	88	100	0	0	愛知、千葉、神奈川産中心の入荷。愛知は現状低温・降雨で小玉の仕上がりだが、3月は豊作基調の見込み。神奈川・千葉産も現状は玉伸び鈍いが、3月には回復見込み。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を下回る見込み。
ねぎ	4,275	102	4,384	312	74	293	22	1	千葉、埼玉、茨城産など関東もの中心の入荷となる。関東産は概ね生育順調。現状、降雨と低温から品質低下、ロスが散見され、2月中旬の入荷ペースは緩慢だが、3月には前年並みになる予想。入荷量は前年をわずかに上回り、不足感がないので前年平年を下回る価格となる見込み。旬通じて切れ目なく入荷され、持合い推移。
きゅうり	5,822	102	5,972	317	101	321	0	0	群馬、埼玉、千葉、宮崎、茨城産中心の入荷となる。西南暖地は着果状況も問題なく、生育は概ね順調。関東産は施設倒壊も復興に向かい、前年より作付増だが低温で出遅れており、越冬長期物のシェアは引き続き高い模様。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は下げ基調でも前年並みの見込み。
トマト	6,613	100	6,030	381	100	420	0	0	熊本、栃木、愛知、福岡、茨城産中心の入荷となる。各地とも現状、低温・日照不足などから玉伸び、色回りが遅れ気味。3月出荷は着果料に不足はなく、気温上昇、日照増加により出遅れ分が徐々に増量の見込み。予想入荷量は前年並み、価格も前年並みだが平年よりやや安い見込み。